

保険薬局の皆様へ

令和6年9月30日

市立四日市病院 薬局

薬局長 加藤 浩

電子処方箋に関する注意事項

平素より当院の処方箋を応需いただき、ありがとうございます。

当院では、令和6年4月より電子処方箋の運用を開始しましたが、不具合が発覚したため運用を中止していました。この度、システムが修正されましたので10月から再開いたします。

つきましては電子処方箋を応需していただくにあたり、処方内容に関して注意事項がございますのでご対応お願いいたします。

当院採用の富士通株式会社によりますと下記問題を解決するには、保険薬局様側のシステムの設定が必要とのことです。

また、下記以外に電子処方箋の処方内容に関して気になる事例がありましたら、当院薬局までご連絡ください。

1. 処方薬の用量単位について
2. 処方コメントについて

【事例1】 処方薬の用量単位について

電子処方箋の用量単位は処方内容を読み込んでいただいた際、薬価収載の単位に変換される設定になっていますが、保険薬局様側のシステムによっては正しく変換されない場合があります。正しい用量に変換されているか、患者様が持参する「処方内容（控え）」でもご確認ください。

【般】 アムロジピン錠 5mg	第一単位：錠（薬価収載）	第二単位：mg（当院独自）
-----------------	--------------	---------------

【般】アムロジピン口腔内崩壊錠 5mg	1錠
1日1回 朝食後	1日分
2024/09/27(金)	
【般】アムロジピン口腔内崩壊錠 5mg	5mg
1日1回 朝食後	1日分
2024/09/27(金)	

正しい用量単位の変換
5mg → 1錠

【般】 アムロジピン錠 5mg 5mg 1日1回 朝食後 (当院第二単位での処方)
⇒ 【般】 アムロジピン錠 5mg 5錠 1日1回 朝食後 (用量が正しく変換されない)

【般】 レボフロキサシン	第一単位：ml（薬価収載）	第二単位：本（当院独自）
--------------	---------------	--------------

レボフロキサシン点眼液 1.5%「VTRS」(5mL)	5ml
両眼に 1日3回	
2024/09/27(金)	
レボフロキサシン点眼液 1.5%「VTRS」(5mL)	1本
両眼に 1日3回	
2024/09/27(金)	

正しい用量単位の変換
1本 → 5ml

【般】 レボフロキサシン点眼液 1.5% 1本 1日3回点眼 両眼 (当院第二単位での処方)
⇒ 【般】 レボフロキサシン点眼液 1.5% 1mL 1日3回点眼 両眼 (用量が正しく変換されない)

(事例) 当院第二単位での処方の際、用量単位だけが薬価収載単位に置き換わり、数値が変換されない。

(対応) 電子処方箋発行時に第二単位を選択した場合、第二単位から第一単位への変換係数（換算量）が記録されます。電子処方箋管理サービスから保険薬局様側のシステムに取り込んだ際に、変換係数（換算量）をもとに薬価収載単位である第一単位へ数量ともに正しく変換されるようですが、保険薬局様側のシステムによっては、正しく変換されない場合があります。事前にシステムの設定をご確認ください。

また、患者様が持参する「処方内容（控え）」に印字される数量・単位は当院電子カルテで入力した内容になりますので、正しい用量に変換されているか参照しご確認ください。

【事例2】 処方コメントについて

必要時、薬品名ならびに用法用量のそれぞれにコメントがついて処方されます。保険薬局様側のシステムによっては、コメントが反映されない設定になっている場合がありますので、事前にご確認ください。

(例) 薬品名の下にコメント入力がある場合

モーラステープL 40mg 10cm×14cm (7枚)	1 包
1日1枚 	
1日1回 患部	
2024/09/27(金)	

(例) 薬品名と用法用量の下にそれぞれコメント入力がある場合

酸化マグネシウム錠330mg「ケンエー」	5 錠
0 -2 -1 -2 -0 -0 で投与	
朝 2錠	
昼 1錠	
夕 2錠	
1日3回 朝・昼・夕 食後	1 日分
適宜調整可	

(事例) 薬品名や用法用量に紐づくコメントが反映されない。

(対応) 必要時、薬品名ならびに用法用量のそれぞれにコメントがついて処方されますが、保険薬局様側のシステムによっては、コメントが反映されない設定になっている場合があります。患者様が持参する「処方内容（控え）」にはコメントの記載がなく、調剤上重要な情報が抜けてしまう可能性があります。

事前にシステムのご確認をお願いいたします。